土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　丹屋奥谷西川通常砂防事業に伴う業務委託

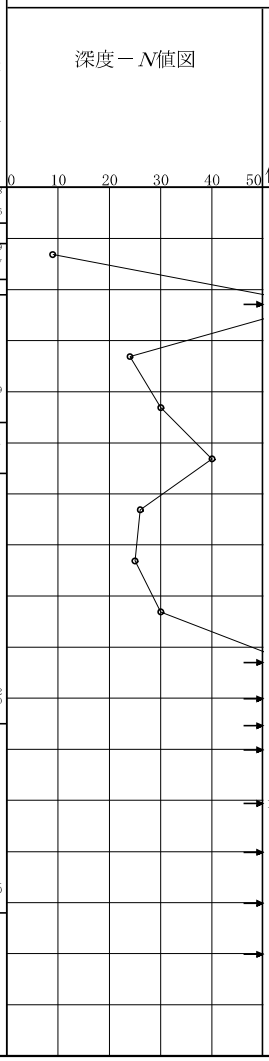
事業名 または 工事名　丹屋奥谷西川通常砂防事業に伴う業務委託

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor-No.1	**調査位置**	広島県福山市水呑町					**北緯**	34° 26′ 21.0373″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2021年 10月 26日 ～ 2021年 11月 2日			**東経**	133° 22′ 11.8015″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 139.72m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 13°	**使用機種**	
総削孔長	15.00m							**試錐機**	東邦D1-B
								エンジン	ヤンマー NFD-12
								ポンプ	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1				粘土混り砂質礫		褐	rd3		新生代第四紀	崖錐堆積物。φ1.0～4.0cm程度の角礫が主体である。礫種は流紋岩および流紋岩質凝灰岩である。基質部は砂主体で粘土が一部混じる。全体的に柱状で締まりがよく、強い指圧で崩れる。所々でコア径以上のサイズの礫を含む。GL-2.5、9.5m付近に径10～20cm程度の玉石を含む。礫、玉石はハンマーによる強打で割れる。	10/28 0.70 10/28 10.70 10/29 4.60 11/01 5.60
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9	129.92	9.80									
10	129.32	10.40		玉石		青黒				崖錐堆積物。岩種は流紋岩。全体的に硬質で柱状コアだが、GL-9.80～9.90は岩片状。ハンマーによる強打で割れる。	11/02 10.50
11				礫混り砂		褐	rd3			崖錐堆積物。基質部は粗粒砂で緩く、軽い指圧で崩れる。φ1.0～3.0cmの角～亜角礫を含む。礫種は流紋岩で、ハンマーによる軽打で割れる。GL-10.70、11.40、11.85m付近に厚さ5cm程度の粘性土を挟む。GL-11.00m付近に径10cm程度の玉石を含む。	
12	127.72	12.00		強風化流紋岩質凝灰岩		灰褐			中生代白亜紀	流紋岩質凝灰岩の強風化部。全体的に岩片状であるが、GL-13.00～13.30、14.40～14.60、14.70～14.90mでは柱状である。ハンマーによる強打で割れる。全体的に割れ目が発達し、割れ目断面は濃い赤褐色を呈する。【CL級】	11/01 14.20
13											
14											
15	124.72	15.00									
16											

標準貫入試験



深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	9	2	3	4	9/300		
1.45							
2.15	60	12	23	15/50	50/250	250	
2.40							
3.15	24	8	9	7	24/300		
3.45							
4.15	30	10	9	11	30/300		
4.45							
5.15	40	8	18	14	40/300		
5.45							
6.15	26	10	6	10	26/300		
6.45							
7.15	25	10	9	6	25/300		
7.45							
8.15	30	13	8	9	30/300		
8.45							
9.15	56	10	12	28/70	50/270	270	
9.42							
10.00		貫入不能			50/0		
10.00							
10.40	60	6	12	32/50	50/250	250	
10.65					50/0		
11.00		貫入不能					
11.00							
12.00	150	50			50/100	100	
12.10							
13.00		貫入不能			50/0		
13.00							
14.00		貫入不能			50/0		
14.00							
15.00		貫入不能			50/0		
15.00							

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					10/26
					10/27
					10/28
					10/29
					11/1
					11/2